

滑中だより

令和5年2月1日発行 第10号 発行者 校長 八木原利幸



夢ふくらむ、「光の春」到来

梅があちこちで咲き始めました。3日は節分、4日は立春、暦の上では「春」がやってきました。しかし、寒波は依然日本列島に居座り、冬の冷たく厳しい空気で一帯を覆っています。しかし、確実に「春」は近づいています。旧暦では、立春は年の初めだったので、「正月節」ともいい、室町時代から特にこの節分を重んじるようになったと言われてます。

埼玉地方の気温を見ても、一日の最高気温が立春をさかいに少しずつ高くなります。明日から突然「春」になるというわけではありませんが温かい日と寒い日を繰り返しながら3月の春本番を迎えるのです。いわゆる三寒四温といわれる時期です。この言葉はもともと中国の東北区や朝鮮半島で使われていた言葉だそうです。ちょうど1週間で天気のリズムが変わることになります。

まだ寒さの厳しい日が続きますが、「春」はもうすぐ、近くにまで来ています。昼の時間が長くなり、日当たりの良い部屋の中はまさに「春」そのものです。沖縄では、桜まつりが間もなく開催されるとのことです。気持ちも高まり何となく未来への明るい希望も沸いてくる季節です。

「言葉と思考、文字から考える」

わからないことがあると、辞書を引いて調べる、以前はごく当然のことでした。しかし、今はインターネットを使って調べることがほとんどです。活字になってこそ「文字」という強い思いから、インターネット上にあるのは「文字の幽霊」みたいだという人もいます。理由は、そもそも「文字」に触れないし、流れて消えてしまうから本当はあるのか、ないのか分からないからだということです。本を手にとって読むとき「文字」は紙に刻まれたものとしてあります。それが「文字」だという認識なのです。

人は情報や知識、考えたことを長く残すために、まず「文字」を使いました。それが発展し、大量に広めるために印刷技術が進歩しました。言葉を「文字」という形に起こすことが、人の営みを未来へ残し、伝える最も効率的な方法だったのです。

何千年もの間、人は自分の思いを言葉にし、「文字」で残すことにより考えを進め、発展してきました。思えば、思考することと言葉にすることは深くつながっているのです。人は考えを言葉にすることでまとめたり、広げたり、深めたりします。その前提には「文字」で残すということがあって、人は「文字」を刻み、印刷して伝え、残し、広げてきたのです。

インターネットが普及し、大量の情報を送ったり、記録したりできるようになりました。例えば、新聞や図書、教科書等のデジタル化です。これらが完全にデジタル化されたら、やがて「文字」は不要になり、動画や静止画で事足りてしまそうです。

今の時代、言葉を使って考えることが少なくなってきていると言われるかもしれません。要するに視覚から入ったものの影響が大きく、それに反して「文字」の役割がどんどん薄くなってきているようだという事です。思考の基礎には言葉や「文字」があって、紙に刻むことを通して文化が育ってきたということが長い歴史の中であります。文学でも歴史でも科学でもあらゆることを学ぶ上で「文字」は必須のもので、特にデジタル化にすっかり慣れていく子供たちには、活字となった「文字」を通して学ぶことの大切さをしっかりと伝えていかなければならないのです。

ところで、大手出版社がつくる大型辞書は製作期間に10年以上、数十人規模の製作チームで、しかも膨大な手作業の中でつくられるようです。中には、指紋が消失する人もいっているといわれています。かつて、国語でも英語でも勉強をしていくうえで紙の辞書は手放せないものですが、それも今は、電子辞書一つで大抵はまかなえてしまいます。どちらがいいか悪いかではなく、それぞれに良さがあり、時代とともに活用の仕方は変化していくでしょう。

「人は考える葦である」という言葉は知っていると思います。人は弱いけれど、他の動物にはできない「考える」ということができます。この「考える」基本は「文字」からです。「本の力、新聞の力」には計り知れないものがあります。そこから、「読む・書く・味わう」を大切にしたいものです。人は、足も速くないし腕力も弱い、暑さや寒さにも弱い、すぐに病気にもなります。しかし、弱くとも「文字」を活用し、「考える」ことで、生きる力を身に付け、今の繁栄を築いたのです。

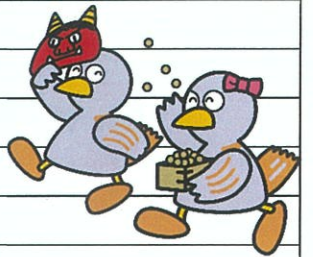
《参考資料：R4.10.27 埼玉新聞、「船を編む(三浦しをん著)》

「さすがです。滑中生！」 令和4年度書きぞめ展

- <推薦> 2年 山崎 清花 木部 來稀
- <特選> 1年 岡久 史樹音 島田 葵
- 瀬倉 瑛真 大平 心春
- 石毛 心菜 伊東 柚妃
- 山下 友菜 檀原 ゆめか
- 高根 実桜 池谷 心優
- 柳 初芽 小林 実里
- 上野 珠々 小林 健太
- 山中 優奈 能見
- 正谷 小姫
- 2年 大塚 ちとせ 川田 いつき
- 石川 美牙 大内 菜央
- 幸保 有珠 齊藤 真菜美
- 贄田 結衣 古谷 まなみ
- 茂串 菜乃 中山 琉生
- 贄田 陽菜乃 細井 蓮人
- 浅見 芽里 森 美優
- 3年 笠原 妃莉 梅澤 透空
- 小林 千莉奈 上野 朔太郎
- 河野 友美 能見 悠加
- 高橋 佳之 濱口 陽美
- 小林 由菜 佐藤 葉月
- 遠山 真夢 成内 悠華
- 花田 海流
- <優良> 1年 遠藤 美典 飯塚 玲奈
- 山崎 希 伊藤 穂乃花
- 関口 さくら 荒木 実暖
- 千葉 もも
- 2年 稲葉 颯希 武内 愛心
- 戸田 陽 鬼塚 仁瑚
- 森田 乃愛
- 3年 加藤 あかり 嶋田 壘斗
- 岡田 碧馬 高橋 知輝
- 中村 奏 吉田 りお
- 大久保 結衣 藤田 唯雅
- 荒井 理央 飯塚 由奈
- 池田 奏

2月行事予定

1	水	A時間割開始 3年三者面談
2	木	3年三者面談
3	金	3年三者面談
4	土	
5	日	
6	月	公立出願(郵送発送日)
7	火	コバトン
8	水	3年学年末テスト 2年滑プロ ⑥1年スキー事前指導
9	木	3年学年末テスト 1年スキー教室 2年滑プロ 公立出願(郵送到着日) 健全あいさつ
10	金	1年スキー教室 2年滑プロ
11	土	建国記念の日 10代からのメッセージ
12	日	
13	月	火曜日課
14	火	職員会議 月曜日課
15	水	ふれあい弁当 交通安全指導 志願先変更
16	木	志願先変更
17	金	⑥生徒集会・委員会
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	⑥公立入試事前指導
22	水	公立学力検査
23	木	天皇誕生日
24	金	1, 2年学年末テスト 公立実技
25	土	資源回収
26	日	
27	月	1, 2年学年末テスト ②③租税教室(3年)
28	火	



吹奏楽部西関東大会
1月28日(土)久喜総合文化会館にて行われた、第28回西関東アンサンブルコンテストに出場し金賞を受賞しました。たくさんの聴衆を感動させる素晴らしい演奏でした。



全日本中学生管打楽器ソロコンテスト関東甲信越支部大会出場!!
2年 持田 梓紗 (バスクラリネット)
2/19 に昭和音大で開催されます。

☆資源回収☆
・2/25(土)
・9:00~
・滑中昇降口前

☆滑中HP